

# 「おいしさ笑顔がつどうみなとまち塩竈」を体感！ みなと塩竈・ゆめ博く歴史・文化

今月はいよいよ「みなと塩竈・ゆめ博」が開催！塩竈の魅力がぎゅっしりと詰まった熱い1カ月が始まります。

特に、2日(金)、3日(土)、4日(日)は塩竈の魅力が一堂に会する3日間となります。

「海」「食・物産」「歴史・文化」の3つの部会では、さまざまなイベントを企画し、皆さんのお越しを心待ちにしています。

今月号では、「歴史・文化」のイベントにスポットを当て、ご紹介します。



(上)しおがまさま 神々の月灯り  
(中)酒蔵めぐり  
(下)塩竈市杉村惇美術館

## みなと塩竈・ゆめ博 メインイベント

- 10/3(土) 地域連携復興市 ゆめ博・絆(きずな)広場/JR仙石線本塩釜駅アクアゲート口
- 10/2(金) 3(土) しおがまさま 神々の月灯り/鹽竈神社
- 10/3(土) 4(日) どっと祭/塩釜水産物仲卸市場(3、4日) 塩竈市魚市場(4日)
- 10/4(日) 第二管区海上保安本部イベント/塩釜港西ふ頭

塩釜商工会議所 ☎367-5111



「歴史・文化」部会会長  
鈴木 整さん  
(塩釜市青年四団体連絡協議会会長)

メインイベントの「しおがまさま 神々の月灯り」のほか、「酒蔵めぐり」「月見カフェ」などの関連イベントでゆめ博の「前夜祭」を盛り上げます。

また、サブイベントでは鹽竈神社を中心に宮町、本町エリアを歩き、「社やしるのまち」を感じてもらえるイベントを開催します。

開催期間中は、ボランティアガイドが無料でガイドを行っていますので、市内の方もあらためて塩竈の歴史を感じてみませんか。

### メインイベント

しおがまさま神々の月灯り

### サブイベント

鹽竈神社秋の門前市  
寒風沢稲刈り体験ツアー  
美術館・博物館めぐり など

## 景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』

### 花街の面影残す「塩竈の都市景観」

江戸時代の文芸作品である井原西鶴の「好色一代男」に塩竈が登場することをご存じですか。

諸国を放浪する主人公の世之介が花街を求めて塩竈に現れ、鹽竈神社の舞姫に心を奪われて大失敗する場面となっています。この物語が天和2年(1682年)の作品であることから、当時、塩竈が花街として全国的に知られていたことがうかがえます。

▼左) 鹽竈街道「好色一代男」の文学碑(西町)  
右) 「歳時記装置」(表坂)



塩竈に花街がいつごろできたのかは分かりませんが、仙台藩では万治3年(1660年)に仙台北下のは塩竈に移され、特別に塩竈と石巻だけ黙認されました。城下に近いことから大変繁盛し、幕末には72軒あったと記録が残っています。

このことから「道そのものが博物館」として整備した「鹽竈海道」には、「好色一代男」の文学碑を展示し、表坂の「歳時記装置」では、定刻になると「塩釜甚句」の音楽とともに、世之介と遊女、舞姫のカラクリ人形が踊ります。

鹽竈海道沿線の景観の中に在りし日の風情を見つけてみませんか。

【参考文献：塩竈市史本篇Ⅰ、塩竈市史別篇Ⅱ】

☎ 都市計画課まちづくり推進係 ☎364-2510

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.8.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	55,629人( -27人)
男	26,553人( -19人)
女	29,076人( -8人)
世帯数	23,003戸( -4戸)